

'17.4

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行人 兵庫県商工会連合会
代表者 志智宣夫
発行住所 神戸市中央区花隈町6番19号
TEL 078(371)1261㈹ 〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 足立誠
印刷所 有限会社 浜田デザイン写真
会員の購読料は会費に含んでおります

第716号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成28年度 スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します

*** 桜イベント情報 ***



第29回 芦屋さくらまつり

とき：4月1日(土)～2日(日) 11:00～20:00
ところ：芦屋川東側道路〔芦屋市〕
※芦屋川の桜並木の下、ステージイベント・縁日出店・抽選会・スタンプラリーを実施。



2017いながわ桜まつり

とき：4月2日(日) [猪名川町]
ところ：町道原広根線(いへな!さくら通り)
※600本の桜並木の下、ステージイベントや会員事業所による模擬店の出店がある。第3回仮装大会も開催。



桜華園 さくらまつり

とき：4月8日(土)・9日(日)
ところ：桜華園〔神河町〕
※世界の桜240品種3,000本が楽しめる。開園期間は3月20日～5月5日。



観桜会

とき：4月8日(土) 10:00～15:00
ところ：辻川山公園〔福崎町〕
※柳田國男・生家前に満開の桜が広がる。
第11回民俗辻広場まつりと同時開催。



第4回 上郡地区 フェスタさくら

とき：3月26日(日) 10:00～14:30
ところ：鞍居川河川敷〔上郡町〕
※約100本の桜並木に、ステージイベントやフリーマーケット等が開催予定。



第11回 かみごおりさくら園 桜まつり

とき：4月2日(日)
ところ：上郡ピュアランド山の里〔上郡町〕
※10品種約1,200本の桜が咲き誇るステージイベントや模擬店の出店もある。

Contents

■県連会Letter 2～3頁

- ・事業審査委員会
- ・アグリフードEXPO大阪2017・第14回シーフードショー大阪
- ・第2回新任商工会会長研修会
- ・第2回管理者研修会

■小規模事業者持続化補助金 採択企業レポート(第5回) 4頁

■商工会Letter 5～6頁

- Tanba Style (篠山市)
- JUMP UP SHISO (宍粟市)
- コミュニティカフェ「Haku」& アンテナショップオープン (神河町)



第44回 篠山春日能

とき：4月8日(土)
10:00開場 13:00開演
ところ：春日神社能舞台〔篠山市〕
※桜咲く国指定重要文化財の能舞台での演能。
観能料：一般5,500円 中高生1,000円



丹波篠山さくらまつり

とき：4月8日(土)・9日(日)
10:00～16:00
ところ：篠山城跡三の丸広場
特設花見会場〔篠山市〕
※丹波焼き陶器市等が開催予定。夜桜のライトアップやボンボリ点灯(3/18～4/23)も行われる。

初の試みとしてビデオ通話を導入！

平成29年度 県連助成事業採択審査委員会

県連合会では、2月1日（若手後継者等育成事業）、6日（地域活力増進事業）、8日（ひょうご「まちおこし」支援事業）に県商工会館において各種助成事業の採択審査委員会を開催した。

地域の課題解決のための取組みやセミナー、地域資源を活用した特産品開発等について公募をしたところ、予算額を超える数多くの事業の応募があった。

審査委員会は、数年前から申

請者によるプレゼン形式を取り入れてきたが、1事業あたりのPR時間が10分未満のなか、遠方の商工会からは片道3時間か

けて対応する必要があったことから、職員の負担軽減や時間の有効活用を目的に、初めてビデオ通話を導入し実施することとした。



▲ビデオ通話を活用した審査委員会

も可能なため、今後は会員事業所にとつても活用次第では業務改善が期待できる。

審査委員会当日は、一部を除き通信状況も安定し、スマートな運営ができたことから、今後様々な形での運用を検討していくとともに、将来的には各商工会においても巡回と合わせて活用することで、限られた職員での業務を効率化し会員サービスの向上に繋げていきたい。

事業所のIT導入や活用相談等については、本会に設置している情報発信支援員の支援を受けることができるため、積極的に活用いただきたい。

2月22日～23日の2日間、大阪市のアジア太平洋トレードセンターにおいて、アグリフードEXPO大阪2017（主催・日本政策金融公庫）、第14回シーフードショーオンライン（主催・大日本水産会）が開催された。

アグリフードEXPO大阪2017 第14回 シーフードショー大阪

全国各地のこだわりの農畜産物や水産物等が、70社より紹介された。

5社より紹介された。

【アグリフードEXPO出展者】

- 松井農園（稻美町）
- チーム美方ルビー（香美町）
- 朝来市商工会女性部
- 加工グループ（朝来市）
- 有限会社都冷蔵（五色町）



▲多数の来場者で賑わいを見せる会場

- 県連合会からは、アグリフードEXPOでは6ブース、シーアードショーでは2ブースが出展し、兵庫県内の農畜産物及び水産物を紹介し、多くの来場者に対し商談に向けた情報発信を行った。
- 香美町商工会
- 株式会社嶋本食品（南あわじ市）
- 株式会社佑宣（南あわじ市）
- 【シーフードショー出展者】
○ 兵庫県商工会連合会（県内9事業所の商品を出展）

協会けんぽ兵庫支部の加入者の皆さまへ

協会けんぽ兵庫支部の保険料率が変わります。

現行 平成29年3月分(4月納付分)から

健康保険料率 10.07% → 10.06%

介護保険料率 1.58% → 1.65%

・任意継続被保険者の方は平成29年4月分保険料から変更となります。

加入者の皆さまの健康の積み重ねが保険料率軽減の大きな力となります。

全国健康保険協会 兵庫支部

☎078-252-8702

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

4月のこよみ

- 25日(火) 商工青年同友会通常総会
- 26日(水) 県女性連通常総会
- 27日(木) 県女性連通常総会
- 28日(金) 新任事務局長研修会

5月のこよみ

- 30日(火) 理事会、通常総会

商工会の使命について再確認

第2回新任商工会会長研修会

県連合会は、2月13日、県商工会館において「第2回新任商工会会長研修会」を開催した。

昨年6月23日～24日に第1回研修会を開催してから半年以上経過し、改めて商工会会長としての意識啓発と理解促進を図ることを目的に、商工会運営や経営改善普及事業等に関する研修を行った。

当日は、丹波市商工会 大木玲子事務局長を講師に招き、「基本理念が組織を支える」役職員が一体となるために」と題し、講演いただいた。

意見交換会では、人事評価の仕方や人事異動、チーフコーディネーター制度などについて活発な意見交換が行われた。

丹波市商工会は、平成19年11月に6町が合併し、兵庫県下においても会員数、職員数とともに最大の商工会として発足した。研修会では、大規模合併の故に生じた課題に対し、役職員がどのように解決していくのか、会員に對しどのようにアプローチを行ったのかなど、事例を交えながら詳しく話を聞いていた。

また、組織としてのあり方や職員の意識を変え、個々のレベルアップを図るために仕組みづ

くりなど、参加者にとって参考になる内容となつた。



▲講演中の大木玲子事務局長



▲熱心に話を聞く新任商工会会長



▲研修を行う渕上氏

平成28年度 第2回管理者研修会 (第2回事務局連絡会議) を開催

県連合会は、2月9日に神戸市・六甲莊において、平成28年度第2回事務局連絡会議を開催した。参加者は、県下商工会の事務局長等31人。

はじめに、足立専務理事が開会挨拶を述べた。

続いて、兵庫県産業労働部産業振興局経営商業課長の渕上茂也氏から「平

成29年度中小企業振興条例に基づく取組の推進について」と題した研修があつた。

同研修では、県産業労働部重要施策や中小企業振興条例に基づく取組の推進を中心に説明があつた。



▲研修中の様子

その後、事務局連絡会議を開催し、兵庫県政及び平成29年度商工会関係予算に対する要望をはじめとして各課から報告や情報提供がなされた。また、安藤副主任チーフアドバイザーからは、労働契約法第18条の「無期転換ルール」への対応について、規定の見直しについて注意喚起がなされた。

続いて、意見交換の場では、新任職員の研修カリキュラムや小規模企業振興条例等を中心必要や質問があつた。

研修会終了後に開催した懇親会では、28年度末をもつて退職する事務局長もいたことから、苦楽の思い出を語りあいながら、終始和やかな懇親だった。

中小企業の皆様を融資でバックアップ!

兵庫県神戸市中央区花隈町6番19号

兵庫県商工連協同組合

理事長 志智宣夫

尼崎信用金庫
淡路信用金庫
神戸信用金庫
但馬信用金庫
但陽信用金庫
中兵庫信用金庫
西兵庫信用金庫
新信用金庫
播州信用金庫
姫路信用金庫
兵庫信用金庫

(アイウエオ順)

「しきんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫ATMでの入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。
(但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部のATMは除きます)

小規模事業者持続化補助金採択企業レポート〈最終回〉(全5回)

個人顧客に向けた 「お任せ配達システム」で販路開拓

多可町商工会×有限会社世光商会

小規模事業者持続化補助金の採択を受けた県内会員事業者事例全5回シリーズの最終回は多可町商工会の有限会社世光商会。

同社は、従来大口顧客向けに行っていた燃料油の残量管理補充サービスを、持続化補助金を活用して個人顧客の灯油の残量管理補充システムとして開発し、新たなサービスとして展開したことで、業界平均を大きく上回って売上を伸長させている。

多可町商工会の経営指導員が自らの豊富な経験と知見に基づき、経営者である竹内元茂氏に寄り添った指導を行うことで、経営者の想いを事業として実現させ、販路開拓による売上拡大につなげている。

◆強み

売上の4分の3以上が掛壳で開業当初から2代、3代にわたる顧客も多く、お客様の燃料ニーズを熟知した情報力とそのニーズに対応できる小回りの利く体制が同社の強みである。

一方、同社の主力商品である灯油は、商品の特性上、価格以外での差別化が極めて難しく、販路開拓を推し進めよううえで課題となっていた。

◆補助金を活用した取り組み

こうしたなか、竹内氏が着目したのが、個人客の灯油の残量管理を同社が行い、適宜給油するというサービス。工場などの大口顧客との取引においては既に同様のサービス提供を行っていたものの、果たして個人客向けのサービスとして成立するのだろうか。しかし竹内氏には、不安は



▲チラシを積極活用して営業する竹内氏



▲外観の様子

地域の顧客を熟知したサービス

有限会社世光商会は昭和37年に地域2番目のガソリンスタンドとして開業した。店頭販売だけでなく、工業用、農業用の燃料油を配達するなど商圏内の様々な燃料需要に対応し、地域に密着したサービスを展開している。

◆課題

売上の4分の3以上が掛壳で開業当初から2代、3代にわたる顧客も多く、お客様の燃料ニーズを熟知した情報力とそのニーズに対応できる小回りの利く体制が同社の強みである。

一方、同社の主力商品である灯油は、商品の特性上、価格以外での差別化が極めて難しく、販路開拓を推し進めよううえで課題となっていた。

商工会の支援 「想い」の具現化

同社が今回新たに実施したサービスは、実は以前から竹内氏の脳裏にあったものである。新しいことを考えるのが好きだという竹内氏にとって事業アイデアを考えること自体はそれほど難しいことではない。しかし、そのアイデアを具体化したり、第三者に効果的に伝えたりするこ

なかつたと言う。

そんな竹内氏が持続化補助金を活用して取り組んだのは、「お任せ配達システム」を構築するためのソフトウェアと補充用タンクの開発、および新サービスを広報するための看板とチラシ・DM作成であった。竹内氏によると、チラシ・DMによる直接の効果は想定以下だったとのこと。

新サービスの内容を十分伝えるにはチラシに加えて対面での説明が重要だと大いに感じたという。一方、効果的な宣伝効果を発揮したのが、灯油補充用タンクであつた。軒先に設置されたドラムタンクが地域住民の目を引き、そこに書かれた同社の名前と電話番号により、同社への問い合わせが相次ぐこととなつた。業界平均では年間約2%は年間約2%3%売上げ減少するなか、同社の売上は前年比約5%増となり、新サービスは同社の売上に貢献している。



▲灯油補充用タンク

なかつたと言う。

そんな竹内氏が持続化補助金を活用して取り組んだのは、「お任せ配達システム」を構築するためのソフトウェアと補充用タンクの開発、および新サービスを広報するための看板とチラシ・DM作成であった。竹内氏によると、チラシ・DMによる直接の効果は想定以下だったとのこと。

新サービスの内容を十分伝えるにはチラシに加えて対面での説明が重要だと大いに感じたという。一方、効果的な宣伝効果を発揮したのが、灯油補充用タンクであつた。軒先に設置されたドラムタンクが地域住民の目を引き、そこに書かれた同社の名前と電話番号により、同社への問い合わせが相次ぐこととなつた。業界平均では年間約2%3%売上げ減少するなか、同社の売上は前年比約5%増となり、新サービスは同社の売上に貢献している。

竹内氏は「今後地域に年寄りが増える中で、お任せ配達システムの需要も増加すると考えている。当社新サービスを通じて地域貢献も果たしたい」と熱く語った。

竹内氏は「今後地域に年寄りが増える中で、お任せ配達システムの需要も増加すると考えている。当社新サービスを通じて地域貢献も果たしたい」と熱く語った。

竹内氏は「最初、社長から話を伺いました。ただ当初は業務効率化が主目的になつていていたと判断したため、販路拡大が事業の中心になるような事業計画策定の支援を行いました。本事業により販路・売上共に大きな成果も得られ、業務効率も改善しました。竹内社長の熱い想いと期待に応えられ大変嬉しいです。

後藤泰樹経営指導員からの一言



最初、「これは面白い」と感じました。ただ当初は業務効率化が主目的になつていていたと判断したため、販路拡大が事業の中心になるような事業計画策定の支援を行いました。本事業により販路・売上共に大きな成果も得られ、業務効率も改善しました。竹内社長の熱い想いと期待に応えられ大変嬉しいです。

(企業基本情報)

【企業名】有限会社世光商会
【代表者】竹内元茂

【所在地】兵庫県多可郡多可町中区
糸屋63-1

糸屋63-1

高校2年生が多数来場 『JUMP UP SHISO』

宍粟市商工会

宍粟市商工会(三渡圭介会長)では、「労働環境対策事業」として、2月8日、市防災センター5階大ホールにて「JUMP UP SHISO」と題した、合同企業説明会を、地域創生の一環として、宍粟市との共同で開催した。これは、人口減少が著しい宍粟市において、「働く場所の提供による定住促進」と、「雇用確保による企業競争力の安定と強化」の二つを進める事によって、市内の活性化を図ることが目的。

今年で6年目を迎える本事業により、数多くの雇用につながる等、一定の成果をあげてきている。

しかし、売り手市場が続く昨今では、同様の「合同就職説明会」が多数開催される等の影響もあり、来場者数の減少や、市外への人材流出等の問題も生じている。

そのため、今年は市内3つの高等学校で、就職を希望する2年生を対象に参加を呼び掛けた。さらに、求職者の利便性を図る観点から送迎バスを用意する等を

実施した結果、就職指導担当教諭の引率による授業の一環として、86人が来場。本格的な就職活動が始まる3年次の6月頃までに、市内企業の業態や具体的な仕事内容等を把握することで、志望企業調査時に自身にとって最良の選択が可能となるように促した。

行つた結果、就職指導担当教諭の引率による授業の一環として、86人が来場。本格的な就職活動が始まる3年次の6月頃までに、市内企業の業態や具体的な仕事内容等を把握することで、志望企業調査時に自身にとって最良の選択が可能となるよう促した。



▲熱心に話を聞く学生ら

行つた結果、就職指導担当教諭の引率による授業の一環として、86人が来場。本格的な就職活動が始まる3年次の6月頃までに、市内企業の業態や具体的な仕事内容等を把握することで、志望企業調査時に自身にとって最良の選択が可能となるよう促した。



▲会場の様子

今後も、宍粟市の活性化に向けて様々なことに取り組んでいきたいとしている。

なお、この様子は当日のNHKニュース等で取り上げられ、市内外からの反響が多くあつた。

また、地元採用を重視する企業側にとって、自社の業務内容等の情報や、求める人材像を直接伝えることで、より効果的な採用活動が行える。そのことにより、双方にとって満足のいく雇用を生み出すこと、情報不足による「雇用のミスマッチ」を軽減することの2点が、一番のねらいであった。

高校生たちは、U・I・Jター

これに合わせ、商店会組織を一般社団法人寺前駅前銀座商店会を設立した。駅前の憩の場所、また今年12月にオープンする峰山高原スキー場や町内観光施設の立ち寄り拠点として、楽しい時間を過ごしていただける、更に商店街に賑わいと活気をもたらすお店づくりを目指して取り組んでいく。



▲賑わう店内

～商店街活性化事業～ コミュニティカフェ『Haku』& アンテナショップオープン 神河町商工会

神河町商工会(秋山紀史会長)では、ひょうご「まちおこし」支援事業の補助を得て3年間商店街活性化の取り組みを行つたが、寺前駅前銀座商店会は発足4年にして、近畿経済産業局、兵庫県、神河町からも高い評価をいた。近畿経済産業局、兵庫県、神河町からも高い評価をいた。近畿のイケテル商店街にノミネートされたほか、第二回ひょうごいいね！お店表彰でも同商店会員が優秀賞を受賞した。また、兵庫県立大学の学生さんにによる商店街消費者アンケート調査結果において、駅前商店街でくつろげる居心地のよいカフェの要望が多かつたことから、平成27年度に神河町の支援、近畿経済産業局の補助を受け、調査分析事業を実施。平成28年度には、中小企業庁のまちなか商業活性化支援事業の交付決定を受けて、寺前駅前にカフェ＆アンテナショップの建設を目指してきた。

今春3月4日には、関係者による竣工の運びとなり、商店街に新しいコミュニティ施設が誕生した。



▲竣工式テープカットの様子